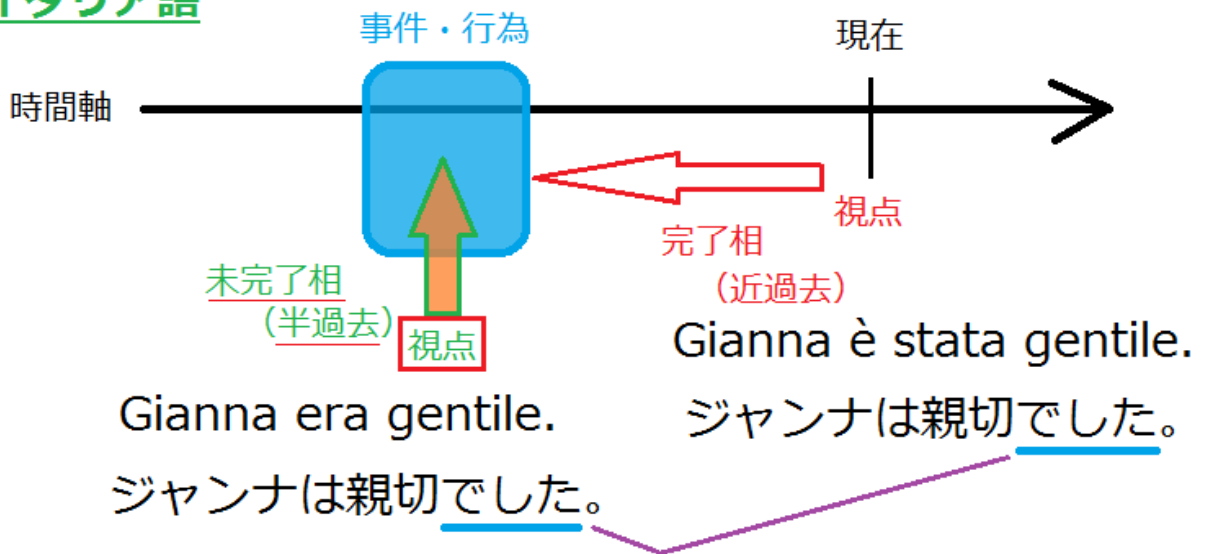


2. 半過去 ③ **ESSERE** の近過去と半過去

- ※ 日本語では「～でした」というひとつの言い方しかしないケースでも、イタリア語では近過去と半過去の両方があるので、話し手には使い分けの判断が求められる。
- ※ 話題となる事件・行為が短時間で完了したのか、それとも長時間継続したのかは関係ない。

イタリア語



- ※ 日本語の表現は同じになるが、近過去と半過去では意味が違ってくるので、話し手はいずれかを選択しなくてはならない。